

THE
ビジネスコーチング
ワークショップ



Center for Management
and Organization Effectiveness Japan



CENTER FOR MANAGEMENT
AND ORGANIZATION EFFECTIVENESS

全米で最も信頼され、世界中の企業で活用されているコーチング手法。
職場での信頼関係を構築し、それを通じた組織の競争力向上を実現する！

なぜコーチングワークショップなのか？

TQM, カイゼン、企業変革、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング。

激しさを増す競争の中で、企業は様々なアイデアや手法を取り入れながら、いかにして競合優位性を築いていくかという命題に取り組んでいます。そのような環境において今求められているのは、新しいアイデアや、戦略、プロセスを現実の業務の中に“実現”させ“定着”させていくことの出来る、実行力を持ったリーダーです。

多くの競合に打ち勝つために、新しいアイデアや戦略を実現させていくということは、企業の中で働くすべての人たちが同じ方向に向かい、同じ目標を達成するために力を合わせていくということです。同じ組織で働くすべての人たちの方向性をそろえるのは、組織デザインの変更や、報酬や昇進の仕組みの変更、その他様々なシステムの変更でも、ある程度は成し遂げられるかも知れません。

しかし、遅かれ早かれ、制度や仕組みの変更による取り組みは限界を迎え、やがて我々一人ひとりが今までと違ったやり方で組織の運営に取り組まなければならない時が来るでしょう。それは、組織の中で効果的に他のメンバーとパートナーシップを築き、相互に学びながら目標を共有し、成長し、競争力を高め、目標を達成していくという行動に他ならないのです。この行動こそ、ビジネスにおけるコーチングなのです。



多くのリーダーは、私たちの質問に対し、ポジションパワーに頼って言うことを聞かせたり、厳しくコントロールして動かすのではなく、対話や目標の共有、合意を通じて相手を動かし導いていくことは重要だと答えています。その一方で、多くのリーダーが実際にそれを実行するためのスキルや具体的な能力が自分にはまだ十分でないことを認め、その能力の開発が急務であるということも認めています。

ビジネス・コーチングとは組織の中で互いに建設的な影響を与えていくコミュニケーションの手法であり、プロセスであり、その行動である。コーチングは解決策の実行に対するコミットメントを高め、パフォーマンスを上げ、行動変革にむけての気付きを促し、スキルや能力を高めていく。コーチングは絶え間なく行われるパートナーシップ構築のプロセスである。

なにを目指すのか？

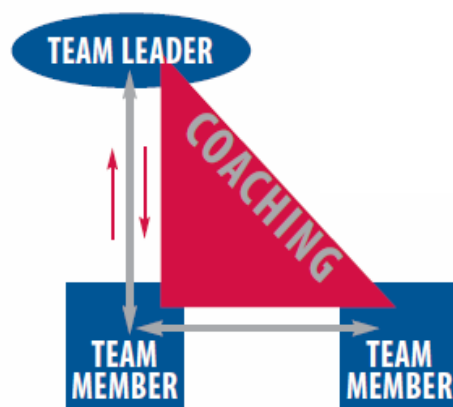
我々のビジネス・コーチングスキル・ワークショップのゴールは、相手と対立し自己防衛的な姿勢に追い込むことなしに、業務や課題に対するオーナーシップを高め、結果への責任を持ち、行動を変革させていくためのスキルや能力を強化することにあります。

我々のコーチングの出発点はビジネスの現場で活躍するリーダー達の行動を観察することから始まりました。多くの観察とその分析を通じて、様々な行動の中からビジネスにおいて成果を上げていくコーチングに共通する要素を抽出し、モデル化してきました。

我々のビジネス・コーチングワークショップは、そのモデルに基づき、その中の基本要素を効果的に実行するための具体的なスキルを習得し、実践していく能力を身につけるように設計されています。

コーチングは、ワークショップに参加した本人自身の行動変革であり、それを支える上司とのパートナーシップの構築であり、さらに本人のコーチングを通じた周囲の人間の行動変革への波及効果です。ワークショップで基本的なスキルや方法を身につけ、それをビジネスの現場に帰って実践し、実践を通じて更なる理解を深め、自分の行動の中に融合させていく、その一連の過程こそビジネスコーチング習得の鍵であるといえます。

我々は、実践的なモデルを活用してコーチングを理解する支援をし、ワークショップにおいてこれを活用するスキルを習得するガイド役をつとめ、組織の中にコーチング行動を浸透させていくためのサポートを通じて、参加者一人ひとりと、その方たちの所属する組織の双方にとってのパフォーマンス・パートナーであり続けます。



ワークショップの参加者のコメントには、「問題解決への実践的な地図が手に入った」「お互いに信頼を構築しながらパフォーマンスを上げていくにはどうしたらよいのかが具体的に見えてきた」「様々な課題をオープンに討議し、お互いの能力を融合させていくプロセスとその実践方法が身についた」といった内容が多く含まれています。

ビジネス・コーチングのワークショップが参加者にとっての行動変革の出発点となり、それが新たな行動変革の輪を組織全体に広げていくための重要な一歩になると思います。

参加者はなにを学ぶのか？

ワークショップを通じて参加者は実践的なスキルや、具体的なツール、実施に向けてのヒントを身につけます。このスキルやツール、ヒントを活用し、職場に戻って実際のビジネスの中で様々な成果を導き出すでしょう。

- ✓ 高い効果を実証し続けるビジネスコーチングのツール:8ステップコーチングモデルを用いて、組織の中の各メンバーの能力を最大限に引き出します
- ✓ 部下のモチベーションを上げ、パフォーマンス向上に向けての自己変革を促進し、業務の優先順位を明確にし、改善の機会やビジネスのチャンスを積極的に探求するように導く
- ✓ フォーカスし、より一層貢献できる機会を積極的に探すといった行動ができるようになる
- ✓ 創造的に、かつ自律的に行動するべく周りを鼓舞することができる
- ✓ 定期的に、育成コーチングのセッションを行い、効果的に相手の能力開発を行う
- ✓ 組織のメンバーがビジネスの変化をいち早く認識し、新しい方向性を自分達で見極め、オーナーシップを持って業務を遂行できるようにする
- ✓ チームのメンバーとの、建設的であり、お互いに学び合えるような関係を構築する。
- ✓ 組織のメンバー間での理解の相違や、新しい取り組みに対する抵抗、できないことに対する言い訳に適切に対処し、生産的にチームの士気を醸成する
- ✓ 支配、統制を通してではなく、信頼関係や相互学習を通じて組織を率い、よい結果を得られるようにする。

問題解決、キャリア開発、パフォーマンス管理、モチベーション向上、個人の育成などのためにコーチングを行う方法を学ぶと共に、リーダーからチームのメンバーへ、メンバー同士、メンバーからリーダーへ、様々なスタイルのコーチング手法を身につけ、生産的な組織文化の構築に大きなインパクトを与えます。



PARTIAL LIST OF CLIENTS

AT&T Abbott Laboratories American Express BP
ChevronTexaco HP Florida Power Corporation
Toppan Iomega Pfizer Proctor&Gamble FMC

コース・アウトライン

事前コース・サーベイ

ワークショップへの参加に先立って、ご希望に応じて紙ベースもしくはオンラインベースでの診断ツールを使用して参加者の皆さんの現在のコーチングスキルを測定し、現在のコーチング行動を診断いたします。参加者の皆さんは普段仕事上で接し自分の行動を良く知っている同僚や部下、上司の方にサーベイを送り、自分の普段の行動を組織の他のメンバーがどう捉えているのかを知ることを通して、自らのコーチングの優れている点や改善点を発見していきます。

診断の結果は「コーチング診断レポート」としてワークショップの中で参加者にフィードバックされ、各人がワークショップの中でコーチングを学んでいく際のベースラインとなります。

アジェンダ

コーチングとは何か？（コーチという役割を、組織のリーダーの、またはメンバーの視点から考えます）

あなたのコーチングスキルは？（ケースを用いて各人のコーチングスキルを診断します）

8ステップコーチングモデル

コーチングモデルの具体的な活用例の紹介

自分のコーチングの振り返り（コーチングモデルを使って各自のコーチングを振り返る）

コラボレーションコーチング

コーチングスキルアップ練習（ケースを用いて8ステップコーチングモデルを練習する）

コーチングの実演（ライブ・デモンストレーション）

プレワークショップの結果の分析

各自の改善点に焦点をあて、スキルの習得の仕方や活用の方法を検討する

私の“8ステップコーチング”（モデルを自分自身のものにする）

育成コーチング、仲間同士のコーチング、上司へのコーチング

自分自身の職場のリアルケースを描き、8ステップコーチングモデルを使って練習する

実際の職場での活用方法を検討し、計画を立てる - コーチングに対するコミットメント

（コースアジェンダはお客様のニーズに応じてカスタマイズいたします。）

CMOEでは、グローバルに活躍するクライアントの皆様のために、グローバルな体制で様々な言語によるワークショップやサービスの提供を行っております。コーチングスキルワークショップは現在以下の言語でご利用頂けます。

英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語

日本語、中国語（マンダリン）、韓国語、タイ語、インドネシア語

（他の地域・言語についても現在準備中です。詳しくは弊社までお問い合わせください。）

PARTIAL LIST OF CLIENTS

Delta Air Boeing Cargill ExxonMobile FedEx
Kaiser Permanente BGI Pacific Gas & Electric
PepsiCo Siemens Texas Utilities Well Fargo

遅かれ早かれ、我々は今までと違ったやり方に取り組む必要がある
そのためには、コーチとして効果的なコミュニケーションを
実行しなければならないのだ

Sooner or later,
people have to start doing something differently.
They have to start communicating
more like a coach.

ワークショップに参加したいのだけれど

CMOEではクライアントのニーズに合わせて様々な方法でコーチングのスキルを高めていくためのワークショップをご提供させていただいております。

パブリックセミナー

CMOEは日本およびアジア・パシフィックを含む世界中の様々な都市で、一般公開のワークショップを開催しております。パブリックセミナーはビジネスコーチングに触れ、実践的なスキルを習得して頂く機会であると共に、これから導入を検討されている企業にとってはプログラムをご体験いただき、検討していただくよい機会になるのではないかと思います。日本においても東京、大阪、名古屋、福岡、その他の様々な都市でパブリックワークショップの開催を予定しております。スケジュールや開催場所の詳細については、弊社ホームページ(www.cmoe.co.jp)をご覧ください。

各企業向けのインハウス・トレーニング

各クライアント企業のニーズに合わせて個別の企業向けのインハウス・ワークショップを実施しております。これらのワークショップにおいては、ケーススタディーをはじめとするワークショップのデザインやその実施、スキルの定着やフォローアップにいたるまでニーズに応じたきめ細かな支援をご提供させていただきます。

企業内トレーナー認定

CMOEでは各企業の中でビジネススキルとしてのコーチングを教え、ビジネスの結果に結び付けていく企業内トレーナーを育成しております。認定後は、CMOE認定トレーナーとして弊社がご提供するトレーニングマテリアルや、各種ツール、WEB診断ツール等をご利用いただけます。



ワークショップに参加する皆様への付随的なサービスとして、CMOEではNOVA Southeastern 大学のビジネススクールと提携し、CMOEがご提供するコーチングワークショップへの参加を通じて同大学の単位取得 - 1.6 CEU (Continuing Education Unit)を取得するプログラムも実施しております。詳しくはCMOE Japan (info@cmoe.co.jp)までお問い合わせください。

ワークショップはどのように進められているの？

参加者は実際のビジネスの中で、いかにコーチングを活用し信頼関係を構築していくかを学び、具体的なやり方やスキルを身につけていただきます。

ワークショップは実戦の中で自らビジネスコーチングを実行してきた経験豊かなコンサルタントによって実施され、ビジネスの中で結果を出していくために必要な知識と、それを活用するためのスキルの双方をバランスよく習得できるようデザインされています。何百ものケース・ライブラリーの中から一番適したケースを選び、現実のビジネスのシーンで多くのマネージャーが実際に遭遇する状況を描き出し、その中でいかにコーチングを実践していくのかを学び、討議し、体験して頂きます。

CMOE ワークショップ

CMOEではクライアントのニーズに合わせてコーチングの他にも様々なワークショップをご提供しております。

Leading Groups To Solutions - ファシリテーションスキル

グループとしてあるいは組織として問題を発見し解決していく上で必要となるスキルを学び、体験し、習得していただくプログラムです。組織を率いるリーダーがファシリテーターとしてメンバーのアイデアや意見を引き出し、議論をコントロールして全体として最適且つ実現可能性の高い解決策を導き出す為のスキルやツールを提供します。また、会議や組織横断的なプロジェクトを効率的・効果的に進め、質の高い解決策を導き出す上で重要な役割を担うファシリテータの養成にも最適なワークショップです。

Applied Strategic Thinking - 戦略的思考、ビジネスプランニング

このワークショップは大所高所から経営戦略論を講義する一般的な「戦略講座」とは大きく異なり、リーダーだけではなく個々人がいかに「今日と「明日」のバランスを取りながら、自分自身の業務を戦略的に捉え、計画し、行動するかというスキルを開発します。すぐに実行することを求められる日常業務と、ビジネスの上で明らかになっている、もしくはまだ見えずに隠れている問題、チャンス、長期的な課題等への取組みとのバランスを取りながら戦略的に考え行動するためにはどうすればいいのかを学びます。ワークショップではApplied Strategic Thinking モデルと各種ツールを用い、スキルの習得と継続的な取組みを支援します。

Exploring Teamwork - 組織開発、チームビルディング

このワークショップでは、チームの動的な側面を理解し、リーダーとして効果的にチームを率いていくためには何が求められるのかを考え、そのために必要なスキルを学び、身につけて頂きます。組織のパフォーマンスを向上させる「チームワーク」を、「組織の方向性」、「組織の体制(役割と責任)」、「組織文化」、「業務プロセス」、「リーダーとメンバーの役割」、「外部環境」という観点で整理し、自らの組織を診断した上で組織の力を結集させるための具体的な方法を習得し、組織全体としてのパフォーマンス向上を目指します。

Innovation & Change - イノベーション&チェンジ

CMOEでは継続的にイノベーションを生み出す組織を分析し、イノベーションを、単に突発的な大発明だけを指すのではなく、「付加価値を高めるための連続と続くプロセス」と定義しています。本ワークショップでは、イノベーションを生み出すプロセスを自分たち組織の中で実践し、新しい考え方を探求し、新しいアイデアを実行に移していく手法を実践的に学んでいただきます。アイデアをアイデアで眠らせないためのプロセスとスキル習得を通じ、変革の担い手を養成します。

Flexible Leadership - 状況対応型のリーダーシップ

多くの事例研究により開発された“状況に柔軟に対応するリーダーシップ”モデルを基に、自分のリーダーシップスタイルを振り返り改善点を探ります。さらに、デレゲーションやフィードバックの方法、グループ内での衝突に対処する方法を学び、そのために必要なスキルを習得していただくワークショップです。



Center for Management
and Organization Effectiveness Japan

株式会社CMOE Japan

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-7-16

Bureau虎ノ門1203

TEL:03-3507-1170

FAX:03-3507-1172

info@cmoe.jp

<http://www.cmoe.co.jp>

BUILDING PARTNERSHIPS IN THE WORKPLACE

The impactful, skillbuilding workshop designed to teach team leaders
and team members critical Coaching Skills to facilitate
powerful partnerships in the workplace. Turn empowerment and
Total Quality into more than just words. Learn the skills to make them happen.